

港区国際化推進プラン（素案）に寄せられた区民意見に対する区の考え方

1 区民意見募集の実施概要

(1) 意見の募集時期と件数

| 募集期間 | 意見の通数 | 意見の件数 |
|------------------------|-----------------|-------|
| 令和2年12月1日～ 令和3年1月5日 | 2通 (電子メール2通) | 3件 |

(2) 意見の提出方法

電子メール、郵便、FAX、持参

(3) 資料の閲覧場所

国際化・文化芸術担当（区役所3階）、区政資料室（区役所3階）、総合案内（区役所1階）、各総合支所、各港区立図書館（高輪図書館分室を除く）

2 意見・要望等の反映状況

| | | |
|---|-------------------------------|----|
| 1 | 意見を反映し、計画素案を修正したもの | 1件 |
| 2 | 計画素案の記載の中で趣旨を反映しているもの | 2件 |
| 3 | 計画素案では記述していないが、既存事業等に対応しているもの | 0件 |
| 4 | 意見の内容が対応できないもの | 0件 |
| 5 | 区政に対する要望等として受けたもの | 0件 |
| | 合計 | 3件 |

| | 区分 | 区民意見 | 区の考え方 | 反映状況 |
|---|------|--|--|------|
| 1 | 地域活動 | 調査に回答した外国籍の方のうち、地域活動に参加したいと考えている人が約6割いるという結果が出ていますが、地域活動に参加することによって、外国につながる人たちが、どのようなことを期待しているのかを具体的に知りたいと思いました。「興味がわくものであれば参加してみたい」のところを、今後もし機会があれば、もう少し掘り下げてほしいです。 | 外国人が参加してみたい活動として、「音楽会や芸術祭などの文化芸術活動」が（54.1%）であるなど、意見が具体的にわかるよう、アンケート結果を計画に追記しました。また、「施策2 日本語学習をきっかけとした外国人と日本人の相互理解の促進」として、文化芸術活動など、外国人が気軽に地域に参画できる取組を進めていきます。 | 1 |
| 2 | 情報発信 | 在留資格別の数字を見ると、港区に住む外国籍の方のうち、約4割の人たち（永住者、特別永住者、定住者、日本人の配偶者など）は日本に長期的に暮らす可能性の高い人たちです。中には生まれも育ちも港区、あるいは港区で晩年を過ごすという人もいるかもしれませんし、居住の長期化に伴い、地域資源と関わる領域もますます広がってくるはずです。今後、外国につながる人たちのライフサイクルの視点から（多様なので単純に一つのパターンとしてまとめられるものではないと思いますが）、それぞれのステージでどのようなことが起こりうるのか、もし「壁」があるとしたらそれがどのようなもので、港区であればどのようなサポートが活用できるのか、などを示すものができること、外国につながる人と地域との関わりしろが、人生の時間軸のなかでもっと具体的に見えるようになるのではないかと思います。 | 「施策1(1)9 高齢者への情報提供」や「施策1(1)10 家庭・子育てに関する情報提供」などの取組により、ライフステージにあわせて必要な情報提供を行い、サポートしていきます。 | 2 |

| | | | | |
|---|---------|---|--|---|
| 3 | 日本語学習支援 | <p>地域の活動に参加してみたい人の10人に1人は参加していない（日本人での統計がどのくらいの割合になるのでしょうか）という課題や、半数程度の方が日本の文化に興味があるという回答は、やはり暮らしている国やそのエリアに関わりたいという気持ちは強いんだなと興味深く読んでいました。</p> <p>ですので、新たな取り組みとして、日本語教室や日本文化の発信といった取り組みはとても意義深いものだと思います。</p> <p>この素晴らしい取り組みが、港区に暮らす「日本人」にもたくさん届いてほしいと願っています。</p> <p>自分自身が、港区への帰属意識はかなり薄かったこともあり、なかなか港区の発信する情報に触れる機会が少なかったかと思います。</p> <p>港区でもいろいろと情報は発信されているかと思いますが、こうした取り組みに関わる人が、周りをどんどん巻き込み、情報発信が得意な人はSNSで発信するなど、小さなことから広がっていくことを期待しています。</p> <p>私も微力ながら、そういった発信をしていきたいと思っています。</p> | <p>日本語学習の支援は、外国人の地域活動への参画に向けた重要な取組のため、気軽に日本語や日本文化等を学べるように、「施策2（1）3 日本語サロンの実施」や新たに「施策2（1）1 基礎日本語教室の設置・運営」を実施するなど、日本語学習支援ボランティアをはじめとした多くの日本人とともに、取組を強化していきます。また、こうした取組を区ホームページやSNS等において周知するとともに、参加者や関係団体等に協力を仰ぎ、情報発信をしてもらうことで、相互理解を促進していきます。</p> | 2 |
|---|---------|---|--|---|